

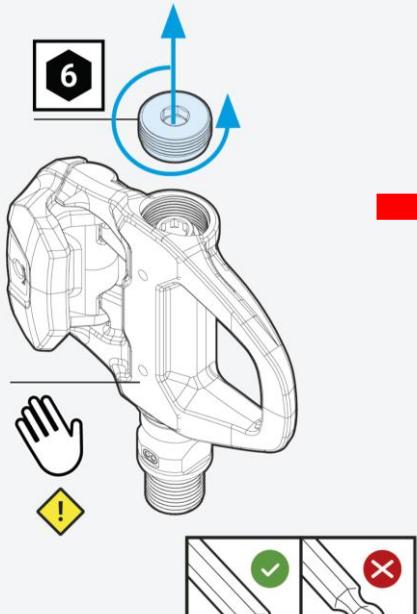
Favero ASSIOMA PROシリーズ

グリスアップメンテナンス

同梱されているグリスアップ専用ツールをご利用ください。

左右ペダル共通作業

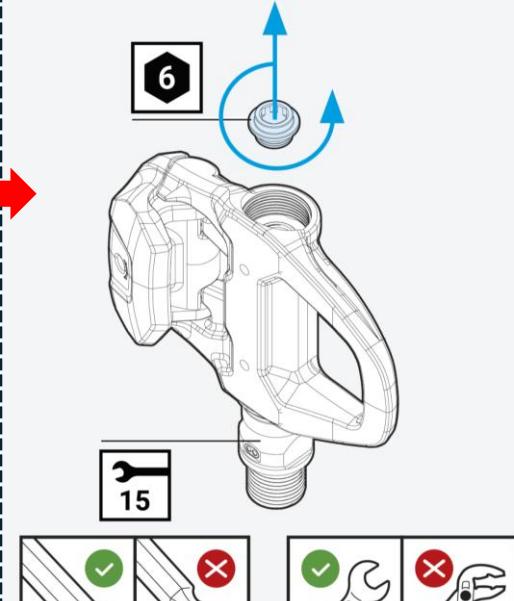
ペダルを垂直に持ち、ネジ部を下向きにして、6mm六角レンチを使ってエンドキャップを反時計回りに回して取り外します。
ボールエンド六角レンチは使用しないでください。



左ペダル作業

ペダルの位置はそのままに保ちます。ネジ部付近の指定されたスロットに15mmの開口スパナを差し込み、スクリューキャップには六角レンチを挿入します。スパナやモンキーレンチは使用しないでください。

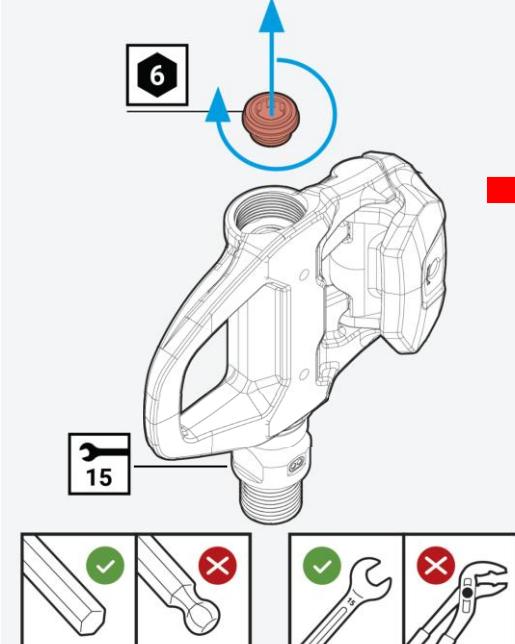
開口スパナをしっかりと固定したまま、スクリューキャップを反時計回りに回して完全に取り外します。



右ペダル作業

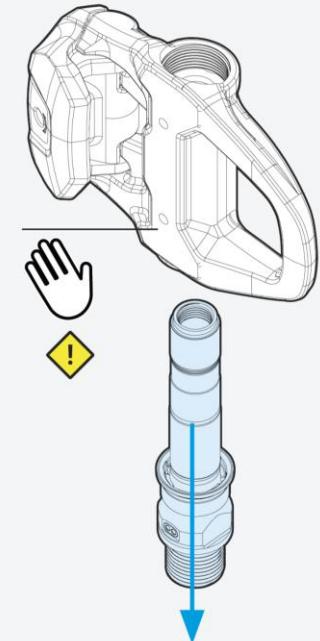
ペダルの位置はそのままに保ちます。ネジ部付近の指定されたスロットに15mmの開口スパナを差し込み、赤いリング付きスクリューキャップには六角レンチを挿入します。スパナやモンキーレンチは使用しないでください。

開口スパナをしっかりと固定したまま、スクリューキャップを時計回りに回して完全に取り外します。



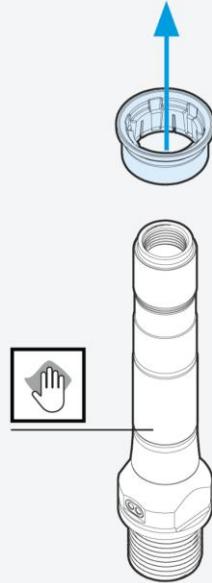
左右ペダル共通作業

スピンドル（センサー）を、対応するブッシングごと取り外します。



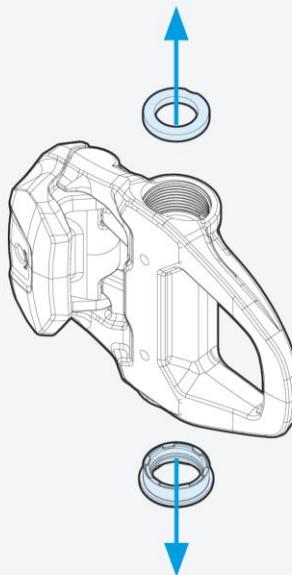
左右ペダル共通作業

スピンドルからブッシングを外し、布で清掃します。



左右ペダル共通作業

ペダル本体からオイルシールと軸方向ワッシャーを取り外してください。

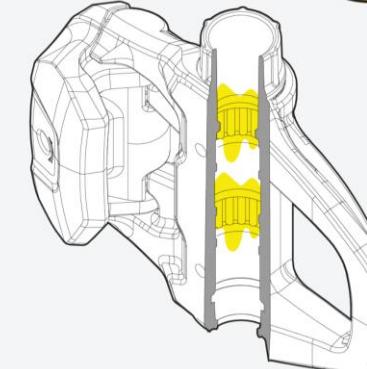


左右ペダル共通作業

ニードルローラーベアリングにリチウムグリースを直接塗布します（ペダル1個あたり約0.6g）。この作業にはブラシや毛のある工具を使用しないでください。グリースを塗布する前に、ニードルローラーベアリングに十分なグリースがあるかを確認してください。

必要に応じて、新しいグリースを追加するか、既存のグリースを完全に交換してください。

リチウムグリース

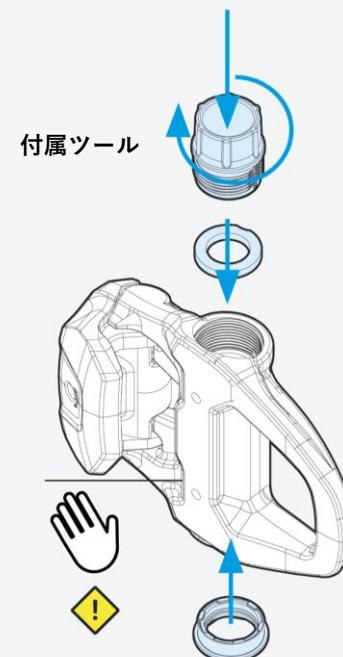


左右ペダル共通作業

軸方向ワッシャーをペダル本体のねじ部に挿入します。同じ端に、パッケージに付属する筒状ツールを挿入し、反時計回りに回して、微妙な「クリック」や触覚フィードバックを感じてください。これにより、ねじ山が正しく整列したことが確認されます。

整列したら、時計回りに優しく締めてください。

オイルシールをペダル本体の反対側の端に挿入します。



1) ペンキャップ形状のツール

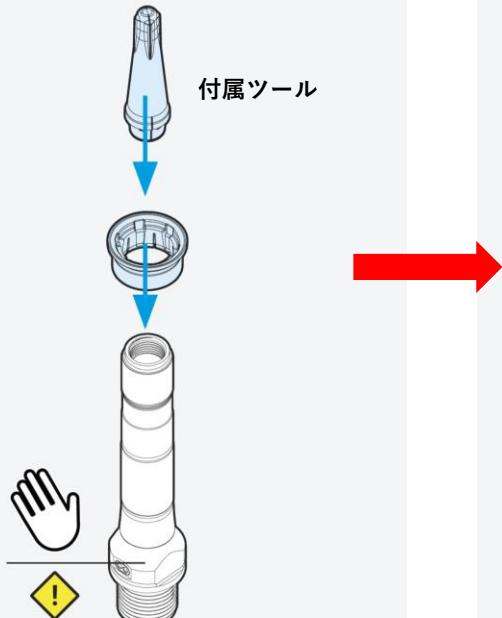
ペダル内部にグリスを充填した後、スピンドルを挿入する際に、スピンドル先端のネジ部へグリスが付着しないようにするためのカバーです。

2) カップ形状のツール

ペダル本体の外側に取り付けるツールで、スピンドルを挿入した際にペダル内部から押し出されるグリスが、エンドキャップをねじ込むネジ山に付着しないように保護します。

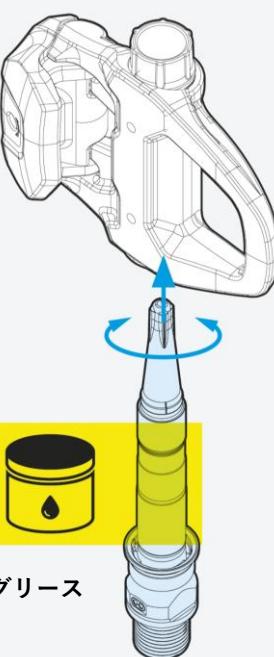
左右ペダル共通作業

ブッシングをスピンドルに取り付け、前回の位置と同じ場所に配置されていることを確認してください。
スピンドルの端に、元のパッケージに付属の円錐形ツールを挿入します。



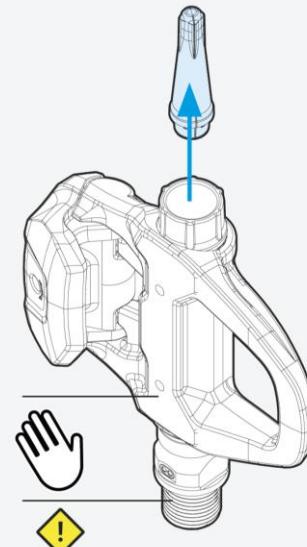
左右ペダル共通作業

スピンドルのブッシングと円錐形ツールの間の部分に、リチウムグリースを薄く塗布します。
スピンドルをねじ切りのない側からオイルシールを通してペダル本体に挿入し、その際にスピンドルを回転させてグリースが均等に行き渡るようにします。



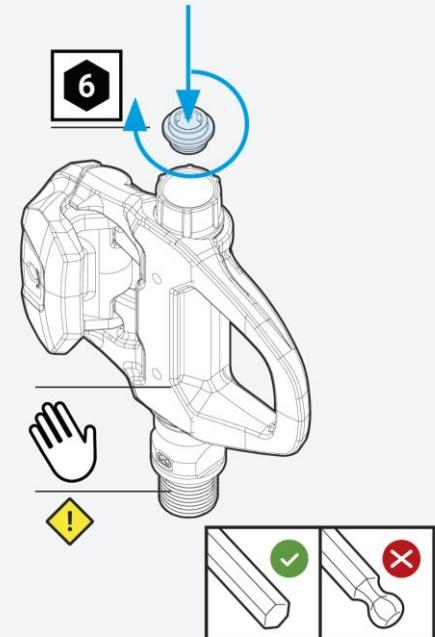
左右ペダル共通作業

スピンドルのねじ部を手のひらで支えながら、均等な圧力をかけて確実にペダル本体に収まるようにします。次に、円錐形ツールを慎重に取り外します。



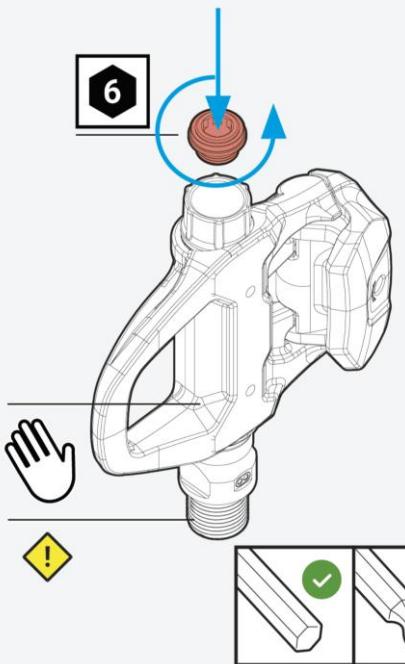
左ペダル作業

スクリューキャップを慎重に筒状ツールに挿入し、時計回りにねじ込んでください。スクリューキャップは次の工程で締め付けられます。ボールエンド付き六角レンチは使用しないでください。



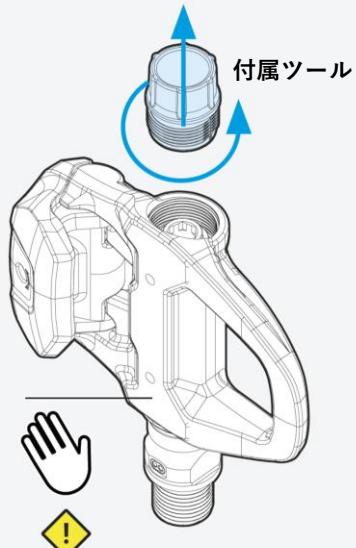
右ペダル作業

丁寧に赤いリング付きスクリューキャップを筒状ツールに挿入し、反時計回りにねじ込んでください。スクリューキャップは次の工程で締め付けられます。ボールエンド付き六角レンチは使用しないでください。



左右ペダル共通作業

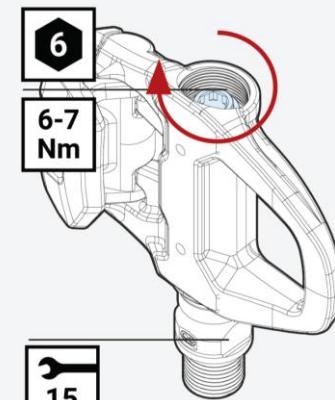
筒状ツールを反時計回りに回して取り外します。



左ペダル作業

ペダルの位置はそのままに保ちます。

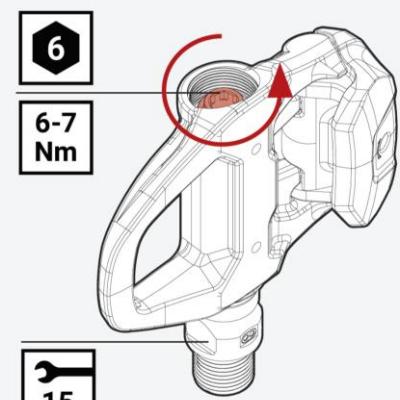
ネジ部附近の指定されたスロットに15mmの開口スパナを差し込みます。続いて、6mmの六角ビットを装着したトルクレンチを使用して、スクリューキャップを時計回りに締め付けます（締め付けトルクは6~7Nm）。



右ペダル作業

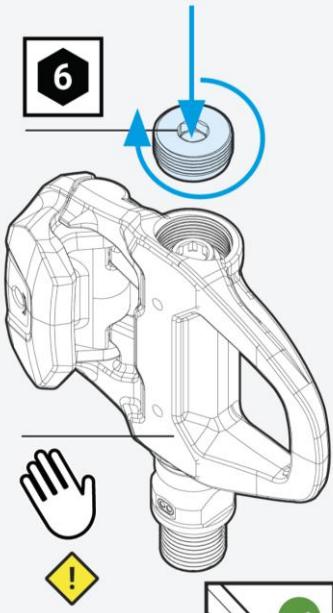
ペダルの位置はそのままに保ちます。

ネジ部附近の指定されたスロットに15mmの開口スパナを差し込みます。次に、6mmの六角ビットを装着したトルクレンチを使用して、スクリューキャップを反時計回りに締め付けます（締め付けトルクは6~7Nm）。



左右ペダル共通作業

エンドキャップを挿入し、反時計回りに回して、微妙な「クリック」や触覚フィードバックを感じてください。これにより、ねじ山が正しく整列したことが確認されます。
正しく整列したら、ねじ山を傷つけないように注意しながら、時計回りに優しく締めてください。
締め付けは次の工程で行われます。



左右ペダル共通作業

同じ方向に回して、4~5Nm のトルクで締め付けます。

